



ずをつかってかんがえよう

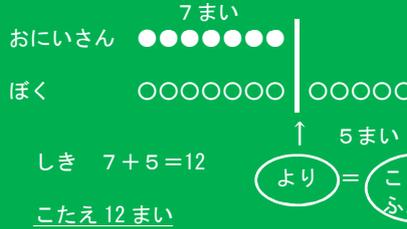
おにいさんは、カードを7まいもっています。
ぼくは、おにいさんより5まいおおくもっています。

みんなで×

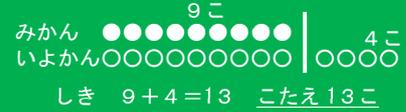
のこりは×

ぼくは、なんまいもっているでしょう

〈めあて〉ずにかいてかんがえて、あたらしいもんだいをかいけつしよう



みかんを9こかいました。いよかんは、みかんより4こおおくかいました。いよかんはなんこでしょう。



〈まとめ〉
「より」のいみをよくかんがえてずをかくとわかりやすい。

1 指導内容（新学習指導要領解説編から）

小学校算数科編より
数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、式を読み取ったりすること。

2 本時のねらい

問題文の言葉に着目し、問題文の表現を基に、図に表すことを通して、問題場面の意味を捉えて考える。

3 「深い学び」の鍵となる「見方・考え方」を動かせるための発問の意図

引 【「見方・考え方」を引き出す発問】
既習の考え方を想起させ、これまでとは質の違う文章題の解き方を導き出させるようにする。

鍛 【「見方・考え方」を鍛える発問】
問題場面を図で表した時、文章題のどのような言葉や意味に着目したのかを捉えさせるようにする。

4 「主体的な学び」・「対話的な学び」の重点

【主体的な学び】
問題の続きを予想させることで、これまで学習してきた加法や減法とは、違う問題であることに気付かせ、新しい考え方を考える必要があること自覚させる。

5 学習過程

段階	主な学習活動と予想される児童の反応	・指導上の留意点 □評価の観点【評価方法】
導入 10分	1 問題を知る おにいさんは、カードを7まいもっています。ぼくは、おにいさんより5まいおおくもっています。 T この続きは、どのような問題でしょう。	<ul style="list-style-type: none"> 問題文を途中まで知らせ、後に続く文章を想像させる。 既習の加法と減法の場面を想起させる。
	C 1 みんなで何枚でしょう。 C 2 合わせていくつになりますか。 C 3 のこりは何枚でしょう。 C 4 どちらが何枚おおいですか。 T 今まで考えてきた問題をよく覚えていましたね。続きは、「ぼくは何枚持っているでしょう」なのです。 C 5 いつもと少しちがう。分かるようで分からない。	

	<p>2 本時のめあてを知る</p> <p>T { どういうこと？</p> <p>C 6 「みんなで」とか「合わせて」という言葉がないです。 C 7 「のこりは」の言葉もないし、どう考えるといいのかな。 C 8 「ぼく」は、5枚ではないのかな。弟だし、お兄さんより少ないよ、きっと。</p> <p>T { 引 「みんなで」や「のこりは」など、考えるときのヒントの言葉がないときは、どのようにして考えればいいのでしょうか。 [引③]</p> <p>C 9 この前勉強したように図をかいて考えてみたい。 C10 Oや口でカードの数をかいて考えると分かると思う。</p> <p>〈めあて〉 ずにかいてかんがえて、あたらしいもんだいをかいつしょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「どういうこと」と問い返し、今までの文章題とどこが違うと思うのか、どこに難しさを感じているのかを自由に発表させることで、みんなで考えて「解きたい」気持ちを促す。
<p>展開 30分</p>	<p>3 自力解決後、ペアで話し合い、全体で話し合う</p> <p>T { 先生は、このような図をかいてみました。</p> <p>C11 違うと思います。ぼくは、5枚じゃない。 C12 ぼくの方がカードは多いです。</p> <p>T { どうして、ぼくの方が多いと分かるのですか。</p> <p>C13 「ぼくは、お兄さんより」だからです。 C14 お兄さんより5枚多い。 C15 お兄さんの7枚まで同じで、そこから5枚多くなっているんです。 C16 7枚より5枚多いから、$7+5=12$で12枚です。</p> <p>T { 鍛 図をかいて考えるときに、何に気を付けて考えましたか。 [鍛②]</p> <p>C17 お兄さんとぼくでどっちが多いかを考えました。 C18 「より」という言葉を考えました。「お兄さんより」とあるから、お兄さんの数の所に線を引くと分かりやすいと思いました。 C19 「より」は、「そこからもっと」ということだと思います。だから、そこから多い分のOをかこうとしました。</p> <p>〈まとめ〉 「より」のいみをよくかんがえてずをかくとわかりやすい。</p> <p>4 適用問題に取り組む</p> <p>みかんを9こいきました。いよかんは、みかんより4こおおくかいました。いよかんはなんこでしょう。</p> <p>C20 みかんの9こより4こ多いから $9+4=13$ 13こ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自力解決後、ペアで絵を確認しながら考えを伝え合うことで、更に考えを深められるようにする。 ・教師が、お兄さんが7枚、ぼくが5枚の図をかいて提示する。 <div data-bbox="1013 963 1380 1048" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>兄 ●●●●●●●●</p> <p>ぼく ○○○○○</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の考えの正しい絵を提示し、「ぼくの方が多」という根拠と照らし合わせながら、全員で共有する。 <div data-bbox="1013 1176 1412 1254" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>兄 ●●●●●●●●</p> <p>ぼく ○○○○○○○○ ○○○○○</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「より」の意味について考え合い、分かったことを使って適用問題に取り組ませる。 ・図と照らし合わせながら答えを出す。 <p>数学的な考え方</p> <p>求大の問題場面で、図から数量の関係を読み取り、加法の式に表して考えることができる。</p> <p>【ノート・発言】</p>
<p>終末 5分</p>	<p>5 本時の学習を振り返る</p> <p>T { 今日の勉強で新しく分かったことを書きましょう。</p> <p>C21 「～より」の意味をみんなで考えて分かりました。</p>	